

第5節 札内北地域

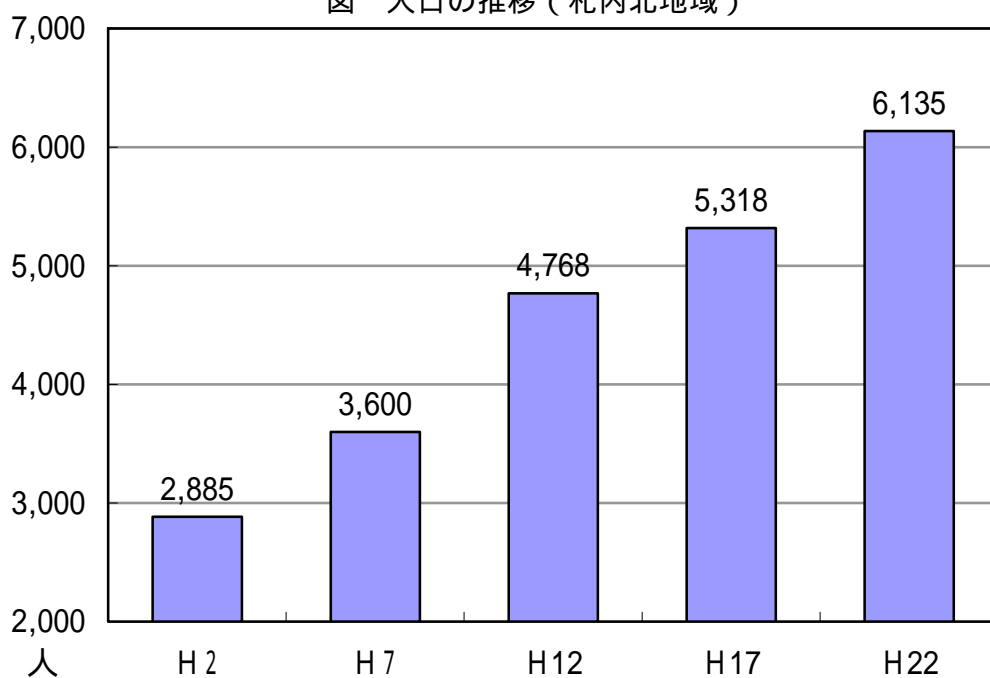
1 地域の概況

札内北地域は、帯広市から最も近くに位置し、中央部を国道 38 号が走っており、都市部へのアクセス性に優れた幕別町の玄関口とも言える地域です。

地域の西側を流れる札内川や北部を流れるメン川、また、親水機能を有する札内北公園があり、いずれもまちに潤いを与えています。国道沿線には商業地が立地し、その周辺に住宅地が形成されています。

地域の各地において土地区画整理事業等による宅地造成が行なわれたことにより、人口は年々増加しており、平成 22 年 9 月末住民登録人口で約 6,100 人となっています。

図 人口の推移（札内北地域）



参考資料：住民基本台帳（各年 9 月末人口）

札内北地域航空写真（平成 21 年撮影）



2 地域の課題

地域の中央部には国道 38 号が位置し、地域が分断されており、接続する幹線道路を含めて相当の交通量があることから、住環境への影響が懸念されている。このことから、住民が安全かつ安心して暮らすことのできるまちづくりを進める必要があります。また、自然豊かな住環境形成のため、札内川及びメン川の水辺環境の維持・保全が必要となっています。

- ・貴重な水辺環境を有するメン川では周辺環境と調和した水辺環境の維持・保全が求められています。
- ・小学校は地域の北側に、商業施設は南側に位置しており、住民生活上、地域中央を横切る国道 38 号や札内北大通などの交通量の多い道路の横断を余儀なくされている現状にあります。また、中学校は隣接する他地域への通学を余儀なくされているなど、地域内外の移動について安全かつ円滑なアクセスが求められています。
- ・生活道路においても、歩行者や自転車交通に安全性の高い道路網の整備が求められているほか、冬の除排雪体制を含めた適切な維持管理が求められています。
- ・国道 38 号沿線の商業地では、町の玄関口として広域的で魅力的な商業地として、その機能の維持と充実が求められています。

【住民の声】

- ・車に便利な道路計画であるが、次は人に便利な道路計画を進めて欲しい。
- ・道路の凹凸が危険なので、バリアフリーにすべき。

地域別意見交換会にて

- ・高齢化により除雪が大変。除雪の仕方に工夫をお願いしたい。

3 目指すべき地域の姿

札内北地域の地域づくりの目標を、地域の特性や課題を整理して次のように設定します。

ひとにやさしいまち - 大地と水が育む札内北地域 -

周辺農地や自然を活かした地域づくり

札内北地域は、地域に潤いと安らぎを与える札内川やメン川、さらには実り豊かな農地を背後に控えた住宅地を主体とする地域です。

自然という地域の財産を活かし、自然とひとが共生する地域づくりを目指します。

歩ける地域づくり

札内北地域の住宅地内は、交通量が少なく閑静な住環境が形成されています。しかし、地域の中央に位置する国道 38 号や幹線道路には相当の交通量があることから、住民が安心して地域内を歩いて回遊できる機能が必要です。

また、迅速かつきめ細かな除排雪体制を確保し、子どもからお年寄りまで歩行者にやさしい地域づくりを目指します。

ひとびとの顔が見える地域づくり

札内北地域は、各公区や町内会を中心とした良好な地域コミュニティが形成されています。今後は、北栄地区などの市街地開発等により新たに住民となった人達を含め、更なるコミュニティの醸成を図る必要があります。

そうした活動の拠点となる各種のコミュニティ施設や、パークゴルフ場やサッカー場などスポーツ・レクリエーション機能を有する札内川の河川緑地を集いの場として活用し、地域コミュニティの維持、醸成を進め、人と人とのぬくもりのあるふれあい豊かな地域づくりを目指します。

【住民の声】

- ・市街地周辺の農地などを利用して、農を感じられる空間の有効利用をすべき。
- ・大木や緑地など、まちの緑をつなぐ緑のネットワークが必要

4 地域づくりの方針

(1) 土地利用の方針

国道沿線商業地等の縁辺部は中密度の住宅地、さらに、その後背部は低密度の住宅地として位置づけ、良好な住環境の維持に努めます。また、道路や関連公共施設のバリアフリー化に取り組み快適な歩行空間の創出に努めるとともに、地区計画により景観に配慮したまちづくりを進めます。

国道 38 号沿線に立地する商業地は、周辺住宅地への環境に配慮しながら、既成商業地の維持と沿道商業施設の誘導を図り、住宅地と調和の取れた利便性の高い都市空間づくりを目指します。

西町、共栄町等に点在している工場などは、必要に応じて移転を促進し、良好な住環境の創出に努めるとともに、土地利用を見直す必要が生じた場合には、用途見直しなどを検討し適切な市街地形成に努めます。

(2) 交通体系の整備方針

安全に国道 38 号を横断できるよう、接続する幹線道路との交差点について地域と連携を図りながら安全確保に努めます。また、3.4.205 札内西大通及び 3.4.225 札内北町本通の整備を進め、地域内のアクセス性向上と歩行者や自転車の円滑で安全性の高い歩行者ネットワークの形成を図ります。

この他、迅速かつきめ細かな除排雪体制の確保に務め、交通安全対策のため、信号機などの設置について関係機関への要請を進めます。



(3) 公園・緑地の整備方針

親水公園として多くの住民から親しまれている札内北公園については、施設の計画的な改修や適切な維持管理に努めます。

札内川河川敷は、十勝川水系河川緑地の一部として、スポーツ・レクリエーション活動の場としてその機能の維持、充実に努めるとともに、災害時の防災拠点としての機能を維持するため適切な維持管理に努めます。

この他、既存にある公園施設の計画的な改修を進め、安全で安心できる環境の維持に努めます。



(4) 自然環境の整備方針

関係機関と連携を図りながらメン川周辺の環境を維持し、札内北小学校と一体化して、いのちを育む場として位置づけます。

札内川については、快適な生活環境を確保するため、河川管理者と連携を図りながら河川美化の推進に努めます。



図 札内北地域 整備方針
 (ひとにやさしいまち - 大地と水が育む 札内北地域 -)

